

東京都小児がん診療連携協議会参加施設の情報公開

医療機関名	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	
住所	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1	
施設名	小児がんセンター	
患者情報	病院の基本情報は特に記載がない場合、集計対象となっている直近の年の翌年1月1日時点のものです。(2018年の情報→2019年1月1日)	
診療実績	診療実績(初発・再発別)、診療実績(入院数)、診療実績(造血幹細胞移植)、死亡患者数につきましてご説明を加えております。	
医療費	疾患の難易度によって大きく変わるため、死亡患者数はがん医療の優劣の評価には直接つながらないことにご注意ください。	
対応	また、診療実績(入院数)は入院患者実数ではなく、延べ数(入院回数)となっており、一人の患者さんが治療ごとに複数回入院していることがございますのでご注意ください。	
施設の特徴(アピール)	国立成育医療研究センター、新規治療の開発、地域の小児がん診療を担う。	
診療受け入れ容量	小児がん病床(対応可能集中治療床(うちPICU)外来化学療法(実績)休日・夜間救急対応(フォローアップ外来)	
小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科	小児外科 移植外科 脳神経外科 眼科 整形外科 放射線科 病理診断科	
	とともに、臨床研究の推進。拠点病院として、地全面的にサポートします。	
	火水木:午後 胞治療科 腫瘍科	
	他にご不明な点やお問合せ等ございましたら、下記までご連絡ください。お問合せ先: 国立成育医療研究センター小児がんセンター内 小児がん中央機関事務局 E-mail: shounigankyoten@ncchd.go.jp 電話: 03-3416-0181(代表) (平日9:00~16:00)	

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2016			2015			2014		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	41	1~3	44	44	1~3	46	26	0	26
急性リンパ性白血病	15	1~3	16	12	1~3	13	7~9	0	7~9
急性骨髄性白血病									0
まれな白血病									1~3
MDS/MPDのうちCML									0
MDS/MPDのうちCMLを除く									1~3
非ホジキンリンパ腫									0
ホジキンリンパ腫									1~3
その他のリンパ増殖性疾患									0
組織球症(HLH)									0
組織球症(LCH)									1~3
その他の組織球症									0
その他の造血器腫瘍									4~6
Down症TAM登録									0
固形腫瘍									54
神経芽腫瘍群									0
網膜芽腫									1~3
腎腫瘍									1~3
肝腫瘍									4~6
骨腫瘍									1~3
軟部腫瘍									0
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変)									0
脳脊髄腫瘍									1~3
その他の固形腫瘍									29
その他の固形腫瘍(具体名)	粘表皮癌 肺芽腫 腺腫瘍			原発不明 ラブドイド 腫瘍	腺芽腫				0

診療実績(初発・再発別)について

当該疾患で初診となった診断時年齢18歳以下の症例で、他施設で診断された場合は初診日、自施設で診断された場合は診断日を基準にして、初発・再発別に集計をした症例数です。

その施設で治療を行っていない症例(診断のみ、もしくは治療終了後のフォローアップ目的で紹介された症例)は含まれません。

再発症例は再発の治療のために紹介された症例のみです。自施設で既に診断治療を受けている症例の再発は含まれません。

また、10未満の数値は「1~3」「4~6」「7~9」と表示しております。

診療実績(入院数)について
小児がん入院患者延べ数、入院在院日数は、診断時年齢18歳以下で、その年の新規患者に限らず入院していた全ての小児がん患者さんの延べ数(入院回数)、在院日数です。全入院患者延べ数、全入院患者入院在院延べ日数は、その施設全体(成人含む)の数です。

診療実績(造血幹細胞移植)	2016	2015	2014	2013	2010-2012
同種造血幹細胞移植	17	13	10	10	26

診療実績(造血幹細胞移植)について					
移植時年齢18歳以下の症例で、小児がんに限らず全ての疾患におけるその施設での造血幹細胞移植の件数です。					
合計	24	20	11	17	45

死亡患者数について
その年に亡くなられた患者さんの数です(診断時年齢が18歳以下であれば、いつ頃診断されたかは関係ございません)。
その施設で亡くなられたか、在宅医療への移行で自宅等で亡くなられた症例が対象です。